

パレタイズロボットの新機能に注目！ ワンタッチで3D積み付け荷姿を自動生成

株式会社 Closer

AIロボット開発の株式会社 Closer（代表取締役：樋口翔太、本社：茨城県つくば市）は、TOKYO PACK 2024で新機能「AutoLayout(オートレイアウト)」を搭載した協働パレタイズロボット「Palletizy(パレタイジィ)」を展示する。

独自のソフトウェア開発により、従来のパレタイズロボットで必要だった専門技術者によるティーチング作業が不要となり、タッチパネルで簡単に操作できることが特徴だ。ロボット側面のタッチパネルから段ボールとパレットのサイズを入力し、「オートレイアウト」ボタンを押すだけで、最適な積み付け荷姿が複数自動生成される。入力した値は即時に3Dモデルで表示されるため、視覚的にも分かりやすい。

この機能により、専門技術者を介さずに現場の担当者がロボットの立ち上げから自動化までを容易に行うことができる。また、パレタイジィは協働ロボットのため、安全策やアンカー打ちが不要であり、キャスター付きで移動できるため製造ラインの変更にも柔軟に対応可能だ。食品産業では、労働力不足の解決策として期待されている。

食品産業のみならず、物流業界からの引き合いも多く、今後は物流向けのデパレタイズやパレットチェンジにも対応していく予定である。

中小規模の出荷ラインの自動化を支援するパレタイジィに加えて、包装箱詰めラインで調理麺の小袋ピッキングを自動化する「PickPacker(ピックパッカー)」も展示される。

URL

<https://www.close-r.com/>